

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	建築物 Paris 協定達成小委員会	主 査 名：外岡 豊 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：糸長 浩司
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>(設置目的)</p> <p>パリ協定が発効し、気候変動対策は 2030 年および 2050 年を視野に入れた長期展望が求められている。同時に国や地方自治体でも国連アジェンダ 2030 の SDGs 対応が求められており、建築物、都市と生活の気候変動対策は重要なテーマになっている。</p> <p>本小委員会では、世界的な動向、建築学会での研究動向、国や地方自治体における動向を踏まえて、温暖化対策への建築物対策について現状での到達点を明らかにし、今後の展望を探るべく、客観的な実態分析と最新の対策技術及び政策手法について調査する。それに基づき、長期的かつ実践的な対応策についての提言を行う。</p> <p>初年度：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 建築、都市、生活分野での温室効果ガス排出削減と適応策に関する最新情報収集 2) 省エネ法、気候変動適応法等関連法規に関する情報収集と問題点の検討と政策提言 3) 再生エネ、国産木材利用、SDGs、ESG 投資、GRI、CSR、SCV、UNGC 等関連事項の 情報収集 4) 自治体の低炭素まちづくり等、気候変動関連行政支援 <p>2 年度：</p> <p>同上+研究集会企画主催、2 年間成果報告書作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：外岡豊 (埼玉大学)</p> <p>幹事：川久保俊 (法政大学)、吉田友紀子 (アール・アイ・エー)</p> <p>委員：高木直樹 (信州大学)、竹部友久 (日本設計)、横尾昇剛 (宇都宮大学)、長谷川兼一 (秋田県立大学)、山口容平 (大阪大学)、依田浩敏 (近畿大学)、松原斎樹 (京都府立大学)、平野勇二郎 (国立環境研究所)、山崎政人 (関西ビジネスインフォメーション)、加用現空 (東京都市大学)、西田裕子 (自然エネルギー財団)、水島大輝 (環境省)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.facebook.com/393861007632834/

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	各委員の活動報告を行い、情報共有と活発な議論を行った。リモート開催公開勉強会により地方在籍委員や外部者の参加により積極的な討論が可能になったが、面談できないための研究協力上の支障もあった
委員会活動の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報発信を積極的に行う必要がある 2. 本会の関連他分野との協働をさらに推進していく必要がある。